

## 親愛なる東京市民諸君に訴ふ。

諸君は炎天下百五十度の焼けつく如き街頭に玉の様な汗を流して働いてゐる工夫を見るであらう！  
また鐵柱も聲を呑み電線凍る冬の眞夜中にも電車の唸りを聞くであらう！  
これこそは二百萬市民の足として忠實に奉仕してゐる市電従業員の惨しき姿である。

我等の今！諸君に訴へんとする處のものはこうした我等の生活が根底から破壊され蹂躪されてしまふ一大事件が突發したからである。

既に工場、車庫、軌道、電路、等に於ては従業員の待遇が極端に改悪され生活の維持さへも困難に陥つてゐる。

だが然し我等は忍従の限りを盡して來た然るも拘らず當局は更に運輸従業員に對して一大鐵鎚を突如として下した。

それは單に我等の生活を脅威するのみに非ずして實に二百萬市民諸君の脅威であり不利益であると信ずる。

見よ！市電當局は今回電車の速力を増して市民によいサービスを送ると稱して我等の給與制を根本から變革してしまつたそれは市民の爲めと言ふ美名に借口して従業員の既得收入を遞減せしめ以て電車經濟の立直しを爲さんとする最も巧妙なる資本主義的産業合理化政策であると言はざるを得ない。

我等は思ふ！二百萬市民が本當に苦んでゐることは満員電車である。

これを解決せずして單なる速力を早めることは事故障害の續出であり、  
幼老婦女子の乗車を困難ならしむる以外に何ものもないと斷言せざるを得ないのである。

## 我等は更に親愛なる市民諸君に訴へる。

我等は市電經濟が本當に行詰つてゐるならば献身的犠牲を拂つてもこれが打開策を講ずるに吝かなものではない。

だが然し東京市は何の理由で高い電力を買はねばならないか？何故に多くの仕事を他の會社に頼まねばならないか？

何故に地下鐵道の計畫を打切らねばならないか？何故に郊外電車を市中に乘入れしめて事更に市電經濟を行詰らしめねばならないのであるか？

こうした事を度外視して迄我等は市電經濟の犠牲に奉仕しなければならぬであらうか？

## 賢明なる二百萬市民諸君の御判断を仰ぎたい。

それも東京市民諸君の爲になる計畫ならこれも忍べる限りは忍ばねばならないが我々の見る處専門家の見る處を以てするならば速力の増大必ずしも可能ならず恐くば八月十六日後の輸送状態が現實に物語るであらう如何としても今度の給與制改革は天下の一大愚案であると斷ぜざるを得ないのである。  
我等は二百萬市民諸君の便益を擁護し率いては我等従業員の既得收入の掠奪を防衛する爲めに合法的運動の徹底的敢行を期するものである。

## 乞ふ！親愛なる東京市民諸君！

我等の微衷を諒とせられ絶大なる御聲援あらんことを。

昭和四年八月 日

## 東京交通労働組合

麴町區内幸町一ノ三幸ビル